

## 「サイコロ♪車座」

### 1. 「サイコロ♪車座」

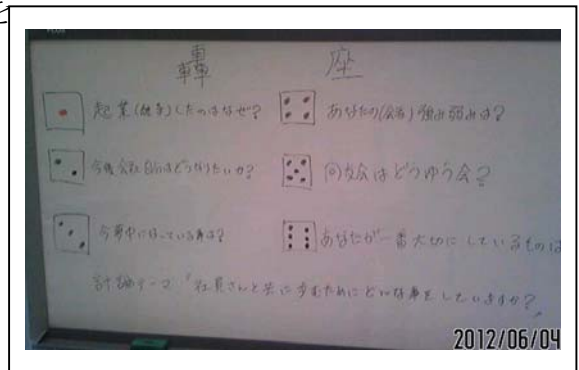
右掲は、6月4日に行われた大阪府中小企業家同友会さかい支部の「サイコロ♪車座」のスナップです。2時間半のコースですが、2人の経営者が自分の状況話して、インタビュワーがサイコロを引いて質問を投げかけて、さらに、深く迫って行くという形式です。通常の例会では、1人の方が50分という長い時間で語るのですが、この方式だと10分くらいなので、準備もカンタンで済むように思いました。その少ない部分をサイコロで引いた目の質問を



投げかけるのです。質問内容は、

- 1: 起業(継承)したのはなぜか？
- 2: 今後、会社・自分はどうなりたいか？
- 3: 今、夢中になっている事は？
- 4: あなたの(会社の)強み・弱みは？
- 5: 同友会はどうゆう会？
- 6: あなたが一番大切にしているものは？

の6つです。一人に3回くらいのサイコロのチャンスがあるので、結構、深く引き出せる「仕掛け」になっていました。



この2人の発表の後、8人ほどのグループに分かれてオープン・カフェ形式でドリンクを飲みながらワイワイガヤガヤと意見を出し合うのです。もちろん、グループ・リーダーと発表者・質問者を決めてセッションを進めるのですが、今回のテーマは「社員さんと共に歩むためにどんな事をしていますか」ということでした。メンバーのそれぞれが感想を言い、質問者に質問事項を出してから、テーマの討論に入ったのです。この時間が約50分なので、2人の発表者への感想・質問という具合になり時間が足りなくなっていました。

私の感想は、この形式は大いに使えるものだと思います。私などは、Facebookでリクエストされて参加した上、もちろん、所属支部も入会もつい最近なので知り合いもないという状況ですが、オープン・カフェ形式なので、ドリンクとおつまみが用意されていて、休憩時間などでも気安く話ができる雰囲気になっていました。やはり、飲み食いは心をオープンにするものだと再確認しました。特に、サイコロで質問を投げかけることで発表者に深く迫って行くので、頭で考えた発表ではなく、つい本音という人間性の部分が見えて楽しく、かつ、勉強になりました。

### 2. 楽しくなければ仕事ではない

この会でも感じたのですが、「職場はトップの鏡」という言葉です。社長さんが楽しくなければ、社員さんも楽しくないのです。まず、自らが「楽しい」という状態に持っていく事が重要です。その次に、やはり「コミュニケーション」の機会を作ってお互いによく知り合うことが重要なのです。相手のことを儲けるための道具としか考えていないと「仕事」中心になりやすく、相手のことを「人」と考えていくとよりプライベートな部分に関して行くのです。昔、元南海ホークスの鶴岡監督の講演で「国のおふくろは元気か」という問いに、2軍暮らしで腐っている選手が蘇ると話されたのを思い出します。やはり、仕事ばかりではダメだと痛感しました。

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryo.html> でご覧になれます！】